

単元名

わたしの考える「ゆめのロボット」
～「ゆめのロボット」を作る(東京書籍)～

本単元で育成する資質・能力

表現力・課題発見解決力・協働する力

1 単元について

I:【考え・基礎知識】

- ・ インタビュー記事やロボットに関する文章を読んで「わたしのゆめのロボット」説明文を書くとともに、説明文「着るロボット」と読み比べながら、文章構成など自分の説明文を校正する。

C:【つながり】

- ・ お互いの説明文を相互評価し合い、読み手にわかりやすい構成やよりよい表現になるように対話を通して改善する。お互いに書いた「ゆめのロボット」を読み合い、感想を交換する。

E:【応用・ひろがり】

- ・ 書いた説明文を集め、「ゆめのロボット」説明文集にし、図書室などに置いてもらい、他の学年にも発信する。

児童の実態

- 説明文教材「くらしの中の和と洋」では、教科書に書かれている「住」以外の「食」「衣」を調べ、構成を意識して説明文を書く活動を行った。
- 日々、作文・日記の課題に取り組んでおり、様々なテーマの作文を書く力は付いてきている。
- 児童アンケートにおいて「自分の思いや考えを読む人に伝わるように書くことができる」と答えた児童は、72%である。また、「作文する時に友だちと話し合うと作文がよくなったり、考えが広がり新しい考えがうかんだりする」と答えた児童は、77%である。

教材について

- インタビュー記事と説明文に書かれていることを基にして、自分でも「ゆめのロボット」について考える単元になっている。

→インタビュー記事と説明文二つの情報をもとに自分の考えをもち文章にまとめることができる。

- 筆者の考えをもとに「ゆめのロボット」について考え自分の考えをまとめる言語活動例が載せられている。

→作品を読み解いたことを活かして自分と関連付けることができる。

研究に関わる資質・能力と目標 ★資質・能力 ◎国語科

- ★既習の情報に関連付け、整理したり再構成したりして適切に表現することができる。【表現力、課題発見解決力】
- ★異なる意見や他者の考えを受け入れながら課題を解決することができる。【協働する力】
- インタビュー記事やロボットに関する文章で分かったことや考えていることを整理し、意欲的に説明文を書こうとしている。【関心・意欲・態度】
- ◎自分の考えが明確でよりよい表現になるよう構成や表現を工夫し、改善しながら書き直すことができる。【B書くこと(1)オ】
- 書き手の思いや考えが明確に伝わる構成や表現になっているかどうかについて助言し合うことができる。【B書くこと(1)カ】
- 筆者の研究するロボットや「ゆめのロボット」はどんなものを捉えるために、中心となる筆者の考えや願いを読み取ることができる。【C読むこと(1)イ】
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使っている。【伝国イ(ク)】

指導のポイント 指導のポイントは、以下の4つである。

- ① 工業大学の教授から、『将来的なロボット研究に関わり、小学生の考える「夢のロボット」について考えを聞かせてほしい。』という依頼を受けるという課題設定を仕組み、「わたしのゆめロボット説明文」に関心をもたせ書く活動に意欲をもたせる。
- ② インタビュー記事やロボットに関する文章を読み、筆者の考えや願い、「伝えたいこと」を捉えさせ、「わたしのゆめロボット説明文」を書かせる。
- ③ 説明文『「着るロボット」を作る』と「わたしのゆめロボット説明文」を読み比べ、「構成」「書き方」の工夫を見付け、自分の説明文を改善する。さらに、友達と対話を通して「わたしのゆめロボット説明文」を相互評価させる。
- ④ 「わたしのゆめロボット説明文」を仕上げ、「ゆめのロボット」説明文集を作る。

2 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
インタビュー記事やロボットに関する文章で分かったことや考えていることを整理し、意欲的に説明文を書こうとしている。	◎自分の考えが明確でよりよい表現になるよう構成や表現を工夫、改善しながら書き直している。オ ○書き手の思いや考えが明確に伝わる構成や表現になっているかどうかについて助言し合っている。カ	○筆者の研究するロボットや「ゆめのロボット」がどんなものを捉えるために、中心となる筆者の考えや願いを読み取っている。イ	○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使っている。イ(ク)

3 単元計画（全 12 時間）

次	時	学 習 活 動	評 価			
			関	書	読	言 評価規準（方法）
第一次	1	単元全体の課題の発見 1 単元全体の課題「『わたしのゆめロボット』説明文」を書くことに対して関心をもつ。 ・工業大学の教授から依頼を受け、「わたしのゆめロボット」説明文に関心をもつ。 2 「わたしのゆめロボット」説明文を書くために、どのようなことを学ぶ必要があるか考え、見通しをもつ。 解決に向けた学習課題の発見 ・自分がこれから書く説明文の課題を実感した上で、これまでに学んだ作文の学習を想起し、伝えたいことを明確にすること（学習課題①）、伝えるために構成を工夫すること（学習課題②）、分かりやすく書くこと（学習課題③）を学ぶという学習の見通しをもつ。	○			教授さんからの依頼だなんて、わくわくするな。しかもロボットってすごいな。「わたしのゆめロボット」説明文を書いて紹介したいな！ ○ 工業大学の教授からの依頼を視聴し、「わたしのゆめロボット」説明文を書くことに興味をもっている。 (児童観察) 「わたしのゆめロボット」説明文を書こうと思ったけど、知っていることだけを使ったのでは、書けそうにないな。「何を」「どう書けば」いいのか、詳しく知りたいな！
	2 3	学習課題①の解決 3 インタビュー記事やロボットに関する文章を読み、筆者の考えや願いや伝えたいことを捉える。 ・筆者は、どのような考えでロボットを作っているか、どのような願いがあるのか等について分析する。 ・ロボットに関する文章を読み、どのような種類のロボットが現在作られたり、使われたりしているかを知る。		○		文章を読んで「わたしのゆめロボット」説明文に書くことを見つけるぞ！どんなロボットがあるのかな？ロボットの専門家はどんなことを考えているのかな？知りたいな！ ○ 「ゆめのロボット」に対する中心となる筆者の考えや願いについてまとめ、それを基に、自分の考える「ゆめのロボット」について考えをまとめている。(ワークシート・児童観察) いろいろなロボットの素晴らしさ、ロボットに込められた思いがわかったぞ！今まで知っていたこととかなり違うな。「わたしのゆめロボット」説明文に書きたいことがはっきりしたぞ！書いてみよう！
	4	4 「わたしのゆめロボット説明文」を書く。 学習課題②、③の再発見		○		○ 筆者の研究する「着るロボット」はどんなものか、筆者の考えや願いを読んで、自分の考えを説明文に書いている。 (ワークシート・児童観察) 「わたしのゆめロボット」説明文を書いてみたけど、書きたいことがうまく伝わっていない気がする…。せっかくならうまく伝えたいな。やっぱり「どう書けばよいか」考える必要があるな！

第二次	5 6 7	学習課題②、③の解決 5 説明文『「着るロボット」を作る』と「わたしのゆめロボット説明文」を読み比べ、「構成」「書き方」の工夫を見付け、自分の説明文を改善する。 - 二つの文章を比較し、文章構成や書き方の工夫を見付ける。 - 見付けた文章構成や書き方の工夫を基に、自分の説明文に加筆・修正する。	自分の「わたしのゆめロボット」説明文には何が足りないのか？分かりやすい説明文と比べて、どんな工夫が必要か見つけるぞ！今までの作文の勉強では、「書く内容」「構成」「書き方」が大切だと習ったぞ。「書く内容」はもう決まっているから、「構成」「書き方」に注目してくらべてみよう！ ○ 教科書の説明文と自分の説明文を【内容】と【構成】の二つの側面で比較し、自分の考えが明確に伝わるよりよい表現になるような構成や表現の工夫を見付けている。(ワークシート・児童観察) ○ 自分の考えが明確でよりよい表現になるような構成や表現の工夫を生かし、説明文を書き直している。(ワークシート・児童観察) 「構成」「書き方」を工夫して書いてみたら、前よりはうまく書けた気がするな。本当にうまく書けたか他の人に見てもらおう！
	8 9	6 友達と「わたしのゆめロボット説明文」を相互評価する。 友達とお互いの説明文を相互評価し、アドバイスシート等にアドバイスし合い、それを基に説明文を再校正する。(本時 2 / 2)	○ 友達と相互評価し合ったことを基に、自分の考えが明確に伝わるよりよい表現になるよう構成や表現を工夫、改善しながら書き直している。(ワークシート・児童観察) 自分だけでは気付かなかった改善点が見つかってよかった！みんなのアイデアを生かして仕上げるぞ！
	10 11	単元全体の課題の解決 7 「わたしのゆめロボット説明文」を仕上げる。 文章構成や表現方法を工夫し、個々で説明文を完成させるとともに、書いた説明文を読み合い、目的に応じた文章構成になっているか等を助言し合い、加筆、修正を行う。	○ 説明文の内容や文章構成の工夫を活かしながら、友達のアドバイス等を基に説明文を書いている。(ワークシート・児童観察) ○ 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使っている。(ク) 勉強したことを生かして分かりやすく書けたぞ！最初の説明文よりずいぶん分かりやすくなったな。「書く内容」をしっかり文章を読んでまとめたり、「構成」「書き方」を工夫したりすることって大切だな。
第三次	12	8 出来上がった説明文を交流するとともに、説明文を文集にして図書室等に置いてもらい、他の学年に向けて発信し、学習を振り返る。 9 今回学んだ説明文の書き方が使える他の場面がないか考え、今後学んだことを使っていこうとする意欲を高める。	○ 説明的文章を書く時の内容や文章構成の仕方を理解し、次に活かすことを自覚している。(作品、児童観察) みんないろいろな内容を、いろいろな工夫を使って書いているな！「書く内容」「構成」「書き方」に注意すれば分かりやすく書けるんだ。これって、総合的な学習の時間とか、委員会のお知らせとか書く時にも使えそう！勉強したことを早く使って書きたいな！

4 本時の展開 (本時 9 / 12)

(1) 本時の目標

友達と相互評価し合ったことを基に、自分の考えが明確に伝わるよりよい表現になるよう構成や表現を工夫改善しながら書き直すことができる。

【書くこと オ】

(2) 本時の展開

	学習課題	○ 指導上の留意点 ● 児童への手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
課題の設定 (5分)	1 本時のめあてを確認する。	○ 単元のゴールを確認し、これまでの学習を活かして、自分達の説明文を更によくするという見通しをもたせる。	
	友達からもらったアドバイスをもとに、自分が書いた説明文の構成や書き方をよりよくしよう。		
交流・情報の収集 (10分)	2 グループで確認し、再校正の見通しをもたせる。	○ 前時同様、3人グループを作り1人につき3分で確認をさせる。 ○ 友達に付箋に書いてもらったことについての質問や確認をする。 ○ 前時に伝えきれなかったことや気付いたことをお互い伝えるようにさせる。	
整理・分析 (25分)	3 もらった助言から自己選択し、説明文を修正する。	○ 説明文のどこをどのように変えるかについての助言シートを基に修正させる。 ○ 助言シートの中の修正に使う付箋を自分で選択し、説明文を修正するようにする。 ○ 「わかりやすい構成、書き方か」「思いや考えが明確か」を論点に助言シートの内容を評価し、活かす助言を選ばせる。	○ 友達と相互評価し合ったことを基に、自分の考えが明確に伝わるよう構成や表現を工夫、改善しながら書き直している。 〔書く能力〕 (アドバイスシート、ワークシート、児童観察)
		Aさんから『三段落は、どんなロボットか、四段落は、そのロボットは、どんなことに使えるかを書いた方がいいよ。』というアドバイスをもらった。 Aさんのアドバイスは、中の構成のことだ。中の構成がわかりやすいことは大切だからAさんのアドバイスを参考にしよう。	
		● 文末等の書き方の工夫にのみ着目している児童については、構成の工夫によって分かりやすくなることを学習した時のワークシートを振り返らせ、構成の工夫の効果にも着目させる。 ● 修正する部分について、助言を生かして変えた場合と、変えなかった場合をそれぞれメモ書きし、メモを比べさせて修正するかどうか判断させる。	
まとめ・振り返り (5分)	4 本時のまとめ、振り返りをする。	○ 単元のゴールとつなげて、「助言し合うことで表現が深まった」「説明文がよりよくなった」という視点で振り返らせる。	

5 板書計画

わたしの考える「ゆめのロボット」

課題

友達からもらったアドバイスをもとに
自分が書いた説明文の構成や表現を
より良くしよう。

[illegible]

作文見直し記号

- ① < 言葉のつくくわえ
② || 消して，なおす
③ ↓ 下げる ↑ 上げる
④ ↙ ↘ 入れかえる

まとめ・振り返り

よりよくなつた所

次に使える所